

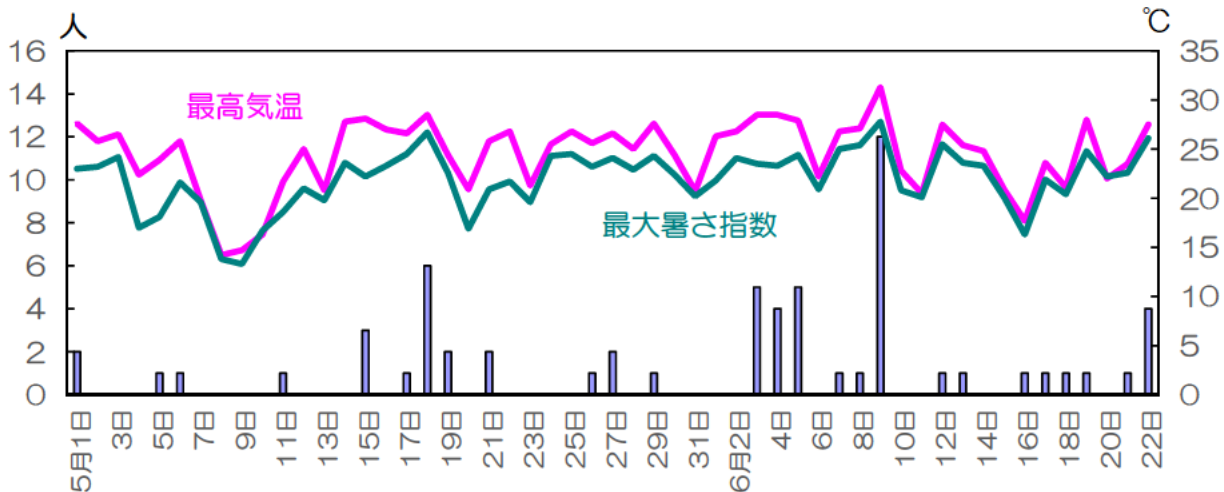
熱中症情報

<搬送数>

平成30年5月1日～6月22日までの搬送数（消防局データを使用）は、計62人でした。6月9日は最高気温が30℃を超え、搬送数も12人と多かったです。

熱中症は、気温が高いなどの環境下で、体温調節の機能がうまく働かず、体内に熱がこもってしまうことで起こります。

身体がまだ暑さになれていない梅雨の時期は、蒸し暑い日、風が弱い日、日差しが強い日等に増加する傾向がありますので、こまめに水分を取り、室温は28℃を超えないように調節し、暑さから身を守りましょう。



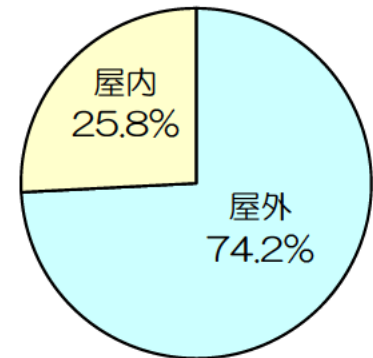
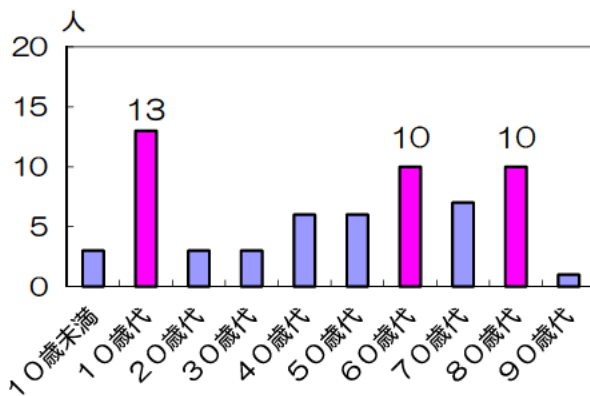
暑さ指数とは? 人間の熱バランスに影響の大きい①湿度 ②日射・輻射(ふくしゃ)など周辺の熱環境 ③気温の3つを取り入れた温度の指標 詳細は「[環境省熱中症予防情報サイト\(暑さ指数\(WBGT\)とは?\)](#)」をご覧ください。

<年齢別>

年齢別では、10歳代が一番多く21.0%、次に60・80歳代でともに16.1%でした。

<発生場所>

屋外74.2%、屋内25.8%で、屋外での発生が多くなっています。



<重症度>

軽症75.8%、中等症24.2%、重症以上はいませんでした。中等症の60%は65歳以上で、屋外での歩行中に多く発生していました。高齢になると重症化の傾向が伺えます。

